

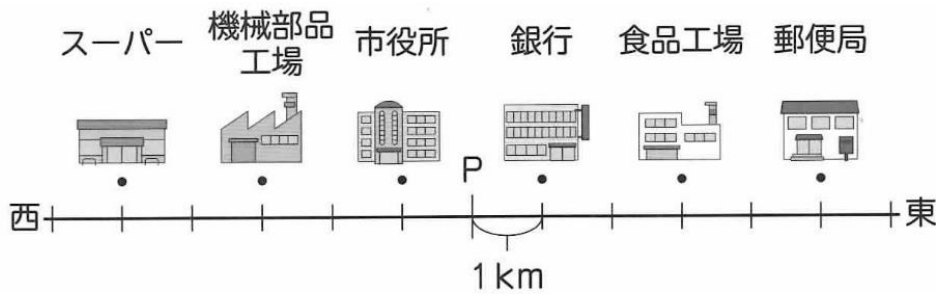
第1学年 数学科 学習課題(1章 せい すう ふ すう 正の数, 負の数) 加法 ver.

【eboard 加法と減法 1～4】

1年 _____ 組 _____ 番 氏名 _____

みなさん、前回の課題はできましたか？今回の課題から計算問題を中心に取り組んでいきます。特に今週のメインは前回学習した正の数, 負の数の「たし算」です。この「たし算」の計算方法がこれからの基礎になるので、しっかり身につけていきましょう。考え方は小学校で学んだたし算と同じです。みなさんならきっとできます！

Q. てつろうさんのクラスでは、班に分かれて職場見学をしました。



上のような東西にのびる直線の道路を、4つの班が次のように移動しました。

- てつろうさんの班…P地点から東へ3 km進み、そこから東へ2 km進んだ。
- ゆきひろさんの班…P地点から西へ3 km進み、そこから西へ2 km進んだ。
- ゆうとさんの班…P地点から東へ3 km進み、そこから西へ2 km進んだ。
- つばささんの班…P地点から西へ3 km進み、そこから東へ2 km進んだ。

さて、4つの班の見学先はそれぞれどこでしょうか？

てつろうさんの班		ゆきひろさんの班	
ゆうとさんの班		つばささんの班	

東への移動を正の数, 西へ移動を負の数で表すことにする。このとき、てつろうさんの班の移動とその結果は次のように表される。

- 1回目の移動…+ 3 km
- 2回目の移動…+ 2 km
- 移動した結果…+ 5 km

2回続けて移動することをたし算で表すと、 $(+ 3) + (+ 2) = + 5$ となる。

たし算のことを といい、その結果のことを という。

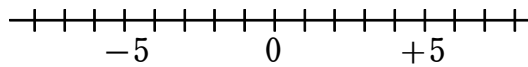
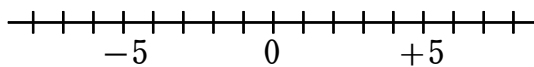
+ 2 と + 3, - 4 と - 3 のように符号が同じことを同符号どうふごうといい、+ 2 と - 3, - 4 と + 3 のように符号が異なることを異符号いふごうという。

●加法①（同符号）

例1 数直線を利用して、次の計算をなさい。

(1) $(+1)+(+3)$

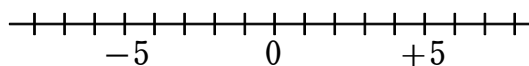
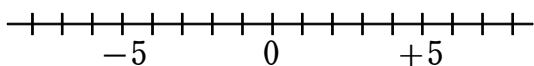
(2) $(-4)+(-3)$



問1 数直線を利用して、次の計算をなさい。

(1) $(+3)+(+2)$

(2) $(-5)+(-1)$

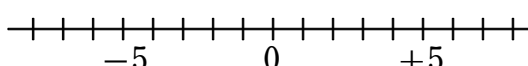
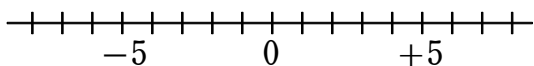


●加法②（異符号）

例2 数直線を利用して、次の計算をなさい。

(1) $(+5)+(-2)$

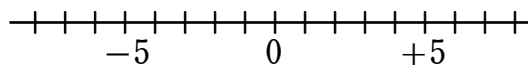
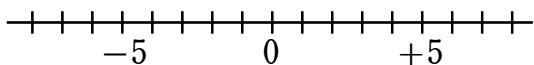
(2) $(-8)+(+2)$



問2 数直線を利用して、次の計算をなさい。

(1) $(+8)+(-4)$

(2) $(-3)+(+2)$



例1, 問1 から次のことが言える。(教科書 P.23)

1同符号の2数の和

・符号…(1)の符号

・絶対値…2数の(2)の和

$$\begin{aligned} (+3) + (+2) &= + (3 + 2) \\ (+2) + (+5) &= + (2 + 5) \\ (-3) + (-5) &= - (3 + 5) \\ (-5) + (-1) &= - (5 + 1) \end{aligned}$$

例2, 問2 から次のことが言える。(教科書 P.23)

2異符号の2数の和

・符号…絶対値の(3)数の符号

・絶対値…(4)ほうから(5)ほうをひいた差

$$\begin{aligned} (+8) + (-4) &= + (8 - 4) \\ (+3) + (-6) &= - (6 - 3) \\ (-3) + (+2) &= - (3 - 2) \\ (-4) + (+7) &= + (7 - 3) \end{aligned}$$

(1)		(2)		(3)		(4)		(5)	
-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

例3 次の計算をなさい。

(1) $(+7)+(+4)$

(2) $(-9)+(-3)$

問4 次の計算をなさい。

(1) $(+2)+(+7)$

(2) $(-4)+(-8)$

(3) $(+26)+(+17)$

(4) $(-28)+(-45)$

例4 次の計算をなさい。

(1) $(+8)+(-2)$

(2) $(-12)+(+10)$

問4 次の計算をなさい。

(1) $(+7)+(-3)$

(2) $(-9)+(+7)$

(3) $(+8)+(-24)$

(4) $(-15)+(+18)$

問5 次の計算をなさい。

(1) $(+2)+(+7)$

(2) $(-9)+(-4)$

(3) $(+25)+(-38)$

(4) $(-44)+(+16)$

(5) $(-1)+(-1)$

(6) $(+5)+(-5)$

(7) $(+7)+0$

(8) $0+(-2)$

●加法の交換法則と結合法則

・加法では $3 + 5 = 5 + 3$ のように計算の順序を入れ替えることができる。

これを 法則という。

・加法では $(2 + 3) + 4 = 2 + (3 + 4)$ のように計算の組み合わせを

かえることができる。これを 法則という。

(1)	
(2)	

例5 $(-5) + (+9) + (-15)$ を計算しなさい。

問5 次の計算をしなさい。(途中式もかくこと)

(1) $(+6) + (-4) + (-2)$

(2) $(-11) + (+5) + (-14)$

(3) $(-9) + (-20) + (+9) + (+5)$

(4) $(-8) + (+3) + (-1) + (+8) + (-2)$

問6 2つの整数の和が次の数になる加法の式をつくりなさい。

(1) -4

(2) $+15$

(1)		(2)	
-----	--	-----	--

問7 (チャレンジ) 次の計算をしなさい。

(1) $(+0.9) + (+2.3)$

(2) $(-1.4) + (+0.6)$

(3) $\left(+\frac{3}{5}\right) + \left(-\frac{1}{5}\right)$

(4) $\left(-\frac{3}{4}\right) + \left(-\frac{2}{3}\right)$